

南阿蘇村と地域創成

大草原でふるさとの自然を学ぶ子ども達



阿蘇くじゅう国立公園には、採草、放牧等に人の営みによる大草原が広がっています。

草原は子どもたちにとって遊び場であり、牛や馬の世話をする生活の場所でした。

しかし、草原をめぐるライフスタイルは変わり、草原に行くことがなくなった子どもたち。

地域創成科学科では、草原と子どもたちをつなぎました。草原で風、におい、色を感じ、ふるさとの草原が大好きになった子どもたちは草原の野の花図鑑を作成しました。

熊本地震後も南阿蘇村の子どもたちは、ふるさとの自然や野の花を活かした復興計画を提案しています。

